

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	言語文化
科目基礎情報						
科目番号	0017		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	都市環境デザイン工学科		対象学年	1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	高等学校 言語文化（第一学習社）／新版六訂 カラー版 新国語便覧（第一学習社）／ 常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）／各種辞書					
担当教員	田中 智樹					
到達目標						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 我が国の言語文化の特質について理解している。	我が国の言語文化の特質についてよく理解し、得られた知識を活用できる。		我が国の言語文化の特質についてある程度理解できる。		我が国の言語文化の特質についての理解が乏しい。	
評価項目2 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を十分に理解できる。		我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義をある程度理解できる。		古典の世界に親しむことの意義を理解していない。	
評価項目3 我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚できる。		我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて、ある程度自覚できている。		我が国の言語文化を継承していくことについて自覚をもとうとしていない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本学国語関係科目の基礎的意義を有する。古典を中心に、日本文化および日本語文化の基本的な知識と教養を培うと同時に、それに基づく考える力を身につけ、国語能力の基礎形成を図る。					
授業の進め方・方法	教科書の音読をとおして、より深く文章の内容理解に努め、教材の中の様々な問題について自分の意見をもち、的確に表現できるようにする。さらに、常用漢字、重要語句を確実に修得するよう努める。また、授業に積極的にに関わり、教師からの質問にも進んで答えるよう心がける。グループワークを併用した授業を予定しているため、積極的な発言および、まとめのレポートについても必ず提出すること。また、サブテキストを使用し、毎月、漢字の小テストを行う。					
注意点	教科書の内容とは別に、毎時間、読書の時間を作り、読書ノートに記録した上で、毎月ノートのチェックを行う。また、提出物の評価を高くしているため、課題の期限を守り、指示されたとおりに提出すること。必要に応じ、遠隔授業の教材や小テストを併用する。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	奥の細道：立石寺	作品及び作者の文学史上の価値・位置づけが説明できる。		
		2週	奥の細道：立石寺	句と地の文とが一体になった芭蕉の文章を味わい、諧紀行諧紀行文の文章として理解できる。俳諧における季語や切れ字の働きについて理解し、説明できる。		
		3週	奥の細道：立石寺	句と地の文とが一体になった芭蕉の文章を味わい、諧紀行諧紀行文の文章として理解できる。俳諧における季語や切れ字の働きについて理解し、説明できる。		
		4週	俳句について（グループワーク）	グループワークを通して俳句を作ることの楽しさや難しさを理解できる。		
		5週	俳句について（グループワーク）	相互に作った俳句の鑑賞を行うことで、日本の伝統文化としての俳句を理解を深めることができる。		
		6週	古今和歌集	作品及び編者の文学史上の価値・位置づけが説明できる。勅撰和歌集としての作品の重要性を理解できる。		
		7週	古今和歌集	我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈できる。		
		8週	古今和歌集	我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈できる。		
	4thQ	9週	短歌について	グループワークを通して短歌を作ることの楽しさや難しさを理解できる。		
		10週	短歌について	相互に作った短歌の鑑賞を行うことで、日本の伝統文化としての俳句を理解を深めることができる。		

		11週	枕草子：中納言参りたまひて	作者及び作品の文学史上の価値・位置づけを説明できる。
		12週	枕草子：中納言参りたまひて	動詞の活用の種類及び活用形の意味と、基本的な助動詞の意味が説明できる。 敬語の使い方を理解できる。 文章の内容や形態に応じた表現の特色が理解できる。
		13週	枕草子：中納言参りたまひて	作品をとおして当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解できる。
		14週	枕草子：中納言参りたまひて	作品をとおして当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解できる。
		15週	期末試験の答案の返却および解説	授業項目について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解できる。
		16週		

評価割合				
	試験	提出物	小テスト	合計
総合評価割合	40	25	35	100
基礎的能力	40	25	35	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0